

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス いまここplus				公表日 2026年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		家具等の配置換えをしたことで広いスペースが確保できている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員配置基準は満たしており、感染症等、様々な理由で出勤職員の安定がしないこともあるが状況に応じての対応は出来ている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		家具、備品などの配置等、安全面を考慮している。	イラストや写真などを使用した視覚化を行い、児童が過ごしやすい環境整備を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日事業所内の清掃を行い、時期を決め車内や施設外の清掃活動を実施している。またぬいぐるみの洗濯は毎週、おもちゃの洗浄を行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		遊ぶ場所、宿題を取り組む場所を決めている。個別の部屋時は無いが必要に応じて職員室の使用も可能にしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎日の事業所内の朝礼や終礼、毎月の事業所別会議を実施し、業務改善のみならず支援についても話し合つ時間を設けている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		昨年度の評価表をもとに、ペアレントトレーニング(講習案内)や保護者、きょうだい児が交流できる機会を設けた。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日、夕方に振り返り会議を実施している。また、午前にもミーティングを行っており、業務や支援について意見交換をする時間を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現在は行っていない。 必要に応じて検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		障害知識向上の研修のみではなく、安全運転研修や救命救急研修、モラル研修等、多岐にわたり研修を行っている。	
アセスメント	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページや公式lineやInstagramに掲載し、公表を行っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		事業所での児童の様子にあわせ、送迎時に保護者様からいただいた情報や面談内容を踏まえて計画をしている。また、毎日児童記録を取り課題や強みを明確にしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議を実施し、チームで課題や強みの共有をしたうえで、支援目標や支援方法を検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎朝、計画書を確認する時間を設け、計画書の内容を意識したうえで支援を行っている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		会社で統一したアセスメントを使用している。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		事業所での様子や学校、家の様子を踏まえて支援計画を立案している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月、レク会議を実施しており、レクの内容やねらい、効果などを踏まえたうえで考案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		保護者様のニーズや児童の「やってみたい」「行きたい」に基づき、活動を考案している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の様子を見ながら、1日の過ごしの中で自由時間と集団活動時間を設けている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前には前日の児童の様子を踏まえ、指導方法を検討している。また活動についての打ち合わせを行い、児童が安全に楽しく過ごせるように工夫している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後に児童の様子や保護者からの引継ぎ事項等の情報共有を行っている。また一日の振り返り会議を行い記録を取り、公休日の職員でも確認が出来るようにしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日、個々の記録を取り職員間で共有し、支援方法をチームで検討、改善、実施している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		送迎時、保護者様と話す時間を大切にしている。また半期に一度のモニタリング面談での内容や事業所での過ごしを踏まえたうえでモニタリングを実施し再立案している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		4つの基本活動や5領域を取り入れた活動を考案し支援している。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動やおやつを選ぶ等、自己選択や自己決定をする機会を設けている。また自発語が少ない児童については絵カードや物を使って意思の表出が出来るように工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		モニタリング訪問や電話等、必要に応じてケース会議を行い、情報共有を行っている。	
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5		下校時間については学校や保護者様から情報を得ている。(学校によっては、保護者から聞いてくださいとの指示がある。)	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	施設間のやり取りはないが、保護者様から児童の情報を得ている。今後必要に応じて情報共有を行っていく。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	現在、該当者がいない。しかし、必要に応じて情報提供が出来るように資料をまとめている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		今後必要があれば検討していきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	いまここの他事業所との交流の機会を設けている。また、学童等の交流は現状難しいが、地域のイベントや公共交通機関などの利用をし、事業所外での過ごしを設けている。	

	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5			必要に応じて店舗からの参加を検討していく。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳に記載するだけでなく、送迎時にも詳細を伝えることを意識している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修や全体への情報共有は行っているが、各児童に応じ事業所で取り組んでいる支援方法等は共有している。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		日頃の送迎時だけでなく面談日を設け、意思、ニーズの確認を行い作成している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画書を確認してもらいながら説明をし、同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や面談日を設けて個々に応じた助言、支援を行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		父母の会のニーズが少ない為、今年度から保護者、きょうだい児が参加できる日を設けた。児童の様子を見ていたくだけでなく、保護者同士の交流のきっかけとした。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		契約時に苦情対応窓口の説明を行い、重要事項説明書にも記載している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式lineやInstagramを活用し、活動概要や行事予定表を配信している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報書類は鍵付きラックに収納している。またsns等に掲載する写真には十分注意をし、許可をいただいている児童のみを掲載している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童に応じて絵カードを使用し意思の確認、保護者様への共有事項は連絡帳だけでなく送迎時にも密に行なうことを意識している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在は行っていない。 必要に応じて検討していく。
非	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		避難訓練を3月と7月にテーマを分けて行なう内容については連絡帳にて共有している。	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画(BCP)はホームページに公開している。また必要な訓練を実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時やアセスメントにて服薬や発作については事前に確認を行っている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アセスメントに食物アレルギーについての項目を作成し、契約時にも確認を行い対応をしている。	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に基づいて、研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		連絡帳や公式line、SNS等を活用し周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月ヒヤリハットを作成し、所内で共有し再発防止に向けミーティングを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に2回虐待、身体拘束について研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。	